

平成24年度

まちづくり活動助成団体紹介

まちづくり基金によるまちづくり活動助成を受けた団体を紹介します。
平成24年度の「地域“魅力”アップ部門」では7団体、
「“はじめの一步”部門」では7団体、
「まち“夢”工事部門(第1次選考会)」では4団体に対して助成を決定しました。
今回は、そのうち「地域“魅力”アップ部門」の3団体、
「“はじめの一步”部門」の1団体についてご紹介します。

地域“魅力”アップ部門

名古屋城外堀ヒメボタルを受け継ぐ者たち

本会は、かつてヒメボタルの保護活動をしていた竹内氏のご家族・知人・氏と交流のあった小学校教諭とその教え子たち等が活動を受け継いでおり、その輪は縦に横にと広がっています。

今回のまちづくり活動助成では、「名古屋城ヒメボタルの森ほっとプロジェクト」を提案し、名古屋城外堀に生息するヒメボタルを絆として人と人、人と自然がつながり、温かい輪が広がることを目的とし、①蛍観察期間における発受信②観察会(護国神社境内)での発受信③ブース出展や体験会での発受信④作品募集と手作り絵本の増刷⑤案内板作成を実施します。



ヒメボタルお話会の様子



手作りチラン作成の様子

お問合せ先 | 安田 和代 e-mail kazuyo29@gmail.com
URL http://sotobori.sp.land.to/

特定非営利活動法人まちの縁側育くみ隊

当団体は、NPO法人くれよんBOX、任意団体かたひらかたろうと共に、あらゆる属性や立場を越えて、開かれた関係性がまちの中に広がることを願いつつ、まちの縁側の空間を利用した「ジネンカフェ」を開催してきました。参加人数はその回によってまちまちですが、事後アンケートにも多くの人々が期待を寄せて下さっていることが記されています。今回のまちづくり活動助成では、①10月を除いた、毎月1回のジネンカフェの開催、②11月に予定している拡大版の開催、③広報のためのリーフレット作成などを実施します。



ジネンカフェの様子



お問合せ先 | 大久保 康雄 e-mail ookubo@engawa.ne.jp
URL http://www.engawa.ne.jp/

鳴子きずなの会

「鳴子住民の絆を深めていきたい」という強い想いを持って、楽しみながら「やりたいこと・できること」に1つずつ取り組み、実績を重ねてきました。今回のまちづくり活動助成では、①新住民の新たな絆を結ぶ「鳴子新住民歓迎交流プロジェクト」②コミュニティガーデンで人づくり・絆づくり花咲かボランティアによる「鳴子きずなの花園」づくり③夏祭りなどの地域行事等における元気高齢者の活動の舞台「ジジババはつらつプロジェクト」づくり④「鳴子住民フォーラム」「ワクワク座談会」「HP」の3つのプラットフォームで世代・組織をつなぐ「対話の場づくり」などを実施します。



昨年実施した鳴子元気サミット



鳴子新住民歓迎交流プロジェクトの様子

お問合せ先 | 半田 鑛司 e-mail yrsbk743@ybb.ne.jp

“はじめの一步”部門

あつた産業再発見マイスターの会

熱田区生涯学習センターの「産業マイスター講座」から生まれた「あつた餃子」は、名古屋かまぼこ入りの新しいご当地グルメです。マイスターの会スタート時より、隣接の名古屋学院大学、白鳥庭園、地元かまぼこ店、餃子の皮のメーカー、日比野商店街という多くの人の応援・協力を受けて活動を続けてきました。

今回のまちづくり活動助成では、『「あつた餃子」で、熱田の観光まちづくりを』を提案し、白鳥庭園の催事に出店し、地元商店街や地域を盛り上げたいと思います。また、活動が活発化し、今後、熱田区だけでなく、他区への「食による盛り上げ」という波及効果も期待できます。



イベント会場での出店の様子



皮を通してかまぼこの朱色が鮮やかなあつた餃子

お問合せ先 | 山田 さつき e-mail y-may@mre.biglobe.ne.jp